

人と自然が“ほっとな”まちの広報紙

え び の

Public Relations

「特集」
地域活性化の拠点へ



2011
June
No.536

6

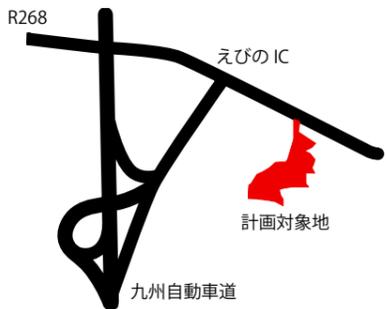
〈表紙写真〉足湯の駅「えびの高原」でのひととき



※記載している図は、あくまでもイメージです。詳細は、実施計画などで明らかになります

地域活性化の拠点へ

市では、平成25年度を目標に、物産館営業開始を目指します



市では現在、物産館建設に向けて準備を進めています。物産館とは、市内で生産される農産物や特産品を展示・販売し、地域の魅力を発信する「情報発信機能」を備えた施設です。

えびの市内には、市内に点在する中小規模の特産品販売所と連携し、市内の観光施設、温泉などを県内外へ広く紹介する「物産館」の設置を望む声がありました。

そこで、平成22年2月10日、物産館建設を幅広い市民参加のもと、官民一体となつて協議するための「活力あるふるさとづくり戦略会議」を設立しました。会議では、物産館建設の基本計画協議検討を本格的に開始しました。

平成22年10月4日には、物産館建設予定地（えびのインターチェンジ入口から東に約200メートルに位置し、1万3000平方メートル）を、1億円で取得しました。会議では引き続き、物産館建設や

運営などについて協議を重ね、早ければ平成24年度から物産館の建設にとりかかり、平成25年4月に営業開始を目指します。

【物産館の目指すもの】

戦略会議での協議では、物産館の目指すものとして「南九州の玄関口、田の神さあおの里で、ご湯つくり〜開業の瞬間が完成形でない、成長する物産館」を基本概念に、次の3つを掲げています。

①観光客に「えびの」を発信、提供する物産館を目指します

えびの市の資源、人の魅力を発信し、サービスを提供することで、えびの市の地域資源を活用した活性化につながる物産館。

②南九州の玄関口となる物産館を目指します

来訪者に快適な休憩施設や食事の提供、物産の販売を行うとともに、えびの市だけでなく、宮崎、熊本、鹿児島県の県境の特性を生かし、周辺

の観光地や物産と連携した南九州の玄関口となる物産館。

③「えびの」のあらゆる資源、組織、人に支えられた物産館を目指します

えびの市のさまざまな資源、組織、人がお互いの強みを生かして、有機的に連携し、来訪者にも市民にも親しまれるえびの市の観光になくはならない存在の物産館。

【市民が主役の物産館】

観光や農業に携わる事業者、団体の参加だけでなく、市民が参加することで、より魅力的な物産館になることが期待されます。

そのために、物産館の名前の募集や郷土料理レシピの募集、イベントの企画など、市民から幅広く意見を聞きます。市民がだれでも参加できる物産館を目指します。

物産館を活用し、農業振興に取り組みます。そのためにも、物産館運営に携わる団体と生産者が緊密な連携を保ち、生産者の確保、育成に取り組むことのできる物産館を目指します。

えびの市物産館建設基本計画は、市畜産農林課で閲覧できるほか、市ホームページ（<http://www.city.ebino.lg.jp/>）でもご覧いただけます。

【お問い合わせ先】
市畜産農林課 担当 手対策室
☎ 35・11111（内線2333・2334）

みんなでつくる物産館に

市民の皆さん、いよいよ物産館建設の取り組みが具体化してきました。

市民の声をワークショップという方法で取り入れながら、たたき台となる「基本計画」をまとめ、この度、広く市民の皆さんに公表することとしました。

本市の抱える少子高齢化、大幅な人口減、農業をはじめとする市民所得の減少を打開するためにも、地の利を生かし大きな交流人口を呼び込まなくてはなりません。そのためには、市民が一致団結し知恵を絞り、熱い想いで挑戦し、市内外に大きく情報発信していく必要があります。その拠点が「みんなでつくる物産館」なのです。

成功の鍵は、多くの市民参画としっかりとした組織経営体の構築です。市民の皆さんの積極的な関わりを心から期待しています。



えびの市長
村岡隆明

公営企業の財政状況

えびの市の公営企業（水道事業・病院事業）の財政状況については、毎年6月と11月に公表しています。今回は、平成22年10月1日から平成23年3月31日まで（平成22年度下半期）の予算の収入と支出の状況についてお知らせします。（四捨五入の関係で、数値、率が一致しない場合があります）

水道事業

..... Data

◎水道業務量

平成22年10月1日～平成23年3月31日

- 【給水戸数】 8,565 戸
- 【給水人口】 19,706 人
- 【下半期給水量】 1,003,563m³
- 【1日平均給水量】 5,514m³
- 【1人1日平均給水量】 279.8ℓ
- 【普及率】 78.8%

◎借入金残高

8億6,553万円

■お問い合わせ先
えびの市水道課経営管理係
(内線 291)

【事業収入に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
水道事業収益	337,620,000	167,633,896	336,428,466	99.6
営業収益	332,197,000	165,695,906	331,961,484	99.9
営業外収益	5,420,000	1,937,990	4,466,250	82.4
特別利益	3,000	0	732	24.4

※収入の営業収益は、水道料金や手数料、水道加入金など。営業外収益は量水器評価額など。

【事業費用に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
水道事業費用	330,907,000	187,421,409	326,054,125	98.5
営業費用	306,978,000	172,300,118	301,072,338	98.1
営業外費用	22,888,000	14,582,569	24,443,065	106.8
特別損失	541,000	538,722	538,722	99.6
予備費	500,000	0	0	0.0

※支出の営業費用は、原水および浄水費、配水および給水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息など。

病院事業

..... Data

◎病院業務量

平成22年10月1日～平成23年3月31日

- 【病床数】 50 床
- 【患者数（入院）】 6,544 人
- 【患者数（外来）】 19,722 人
- 【1日平均入院患者数】 36.0 人
- 【1日平均外来患者数】 165.7 人

◎借入金残高

4,620万円

■お問い合わせ先
えびの市立病院
☎ 0984 - 33 - 1023

【事業収入に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
病院事業収益	1,012,428,000	540,721,620	981,378,740	96.9
医業収益	931,624,000	460,138,263	899,493,423	96.6
医業外収益	80,803,000	80,583,357	81,885,317	101.3
特別利益	1,000	0	0	0.0

※収入の医業収益は、入院収益、外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

【事業費用に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
病院事業費用	978,855,000	494,509,848	956,369,242	97.7
医業費用	976,506,000	468,639,262	929,752,051	95.2
医業外費用	1,946,000	25,669,505	26,416,110	1357.5
特別損失	203,000	201,081	201,081	99.1
予備費	200,000	0	0	0.0

※支出の医業費用は、給与費、診療材料費、電気代などの経費、研究研修費など。医業外費用は、企業債の償還利息など。

情報公開・個人情報保護制度の運用状況を公表します

情報公開条例および個人情報保護条例に基づき、市は、毎年その運用状況を公表しています。平成22年度の運用状況を下記のとおり公表します。

* 公文書公開の実施状況 *

請求件数	全部公開	一部公開	非公開	不服申立て
4 件	1 件	3 件	0 件	0 件

表中の『一部公開』については、公にすることにより、特定の個人や法人等の権利、利益を害すると認められる情報、事務や事業の適正な遂行に支障を及ぼすと認められる情報に該当するとして一部が非公開とされたものです。表中の『非公開』については、「該当する公文書が存在しない」ものです。

* 会議の公開の運営状況 *

市では、情報公開条例に基づき、審議会等の会議を公開しています。これは、市のさまざまな計画や施策の決定過程を広く市民の皆さんに公開することにより、市政に対する市民の権利の確保に努め、市政に対する理解を深めてもらい、開かれた市政の実現を図るために行っているものです。

	平成22年度	平成21年度
会議の開催回数（a）	119 回	130 回
公開された会議の回数（b）	89 回	108 回
非公開とされた会議の回数	30 回	22 回
傍聴者数（合計）	2 人	9 人
公開率（b/a）	74.79%	83.08%

《昨年度との比較》

公開された会議の回数は19回減、非公開とされた会議の回数は8回増となり、公開率では8.29ポイント下がりました。非公開（一部公開を含む。）とされた会議は、個人情報に関する部分や審査・評価に関する事項についてのみ非公開としたものと会議開催の事前公表を行わなかった会議です。

* 個人情報保護制度の運用状況 *

開示請求	訂正等請求	不服申立て	目的外利用	外部提供	個人情報取扱事務登録件数（平成23年4月1日現在）
6 件	0 件	0 件	2 件	2 件	257 件

表中の『個人情報取扱事務登録件数』とは、市の事務のうち、個人情報を収集・管理・利用・提供する事務について、個人情報取扱事務目録に登録している事務の件数をいいます。内訳は、市長部局164件、教育委員会53件、農業委員会17件、選挙管理委員会15件、議会3件、監査委員2件、固定資産評価審査委員会2件、公平委員会1件となっています。

■お問い合わせ先
えびの市総務課行政係
(内線 311・314)

地域づくりの支援を行います

「地域活性化アドバイザー」に奥村さん



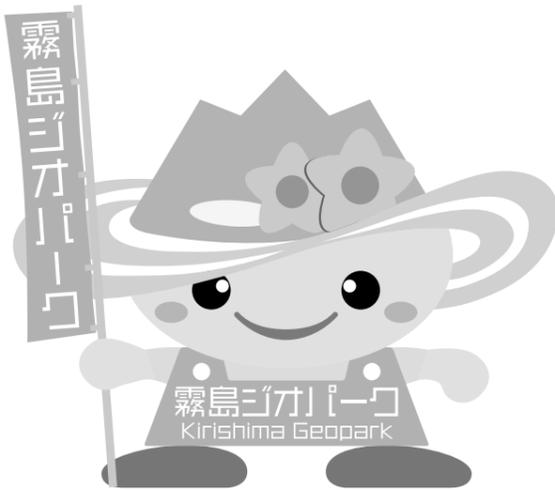
地域活性化アドバイザーの奥村さん

市では、地域活性化アドバイザーとして奥村さんを招きました。これは、総務省のアドバイザー(外部専門家)招へい事業を活用したものです。奥村さんは、地域振興アドバイザー・地域再生マネージャーとして活躍し、最近では、和歌山県高野町の「まちなか再生事業」を支援するなど大きな実績を上げています。

市では、今後、地域活性化アドバイザーの奥村さんを中心に、地域の方の声を聞きながら、地域づくりの支援を行います。奥村さんは、世代間交流を図る場を創出するための支援や地域ネットワークづくりの支援、地域リーダー育成の支援などを行います。また、都市地域からえびの市に移住して、地域活動を行う地域おこし協力隊の支援も行います。

名前は「キリッチ」

霧島ジオパークのキャラクター決定



マスコットキャラクターの「キリッチ」

霧島ジオパークのマスコットキャラクターが決まりました。名前は「キリッチ」です。霧島ジオパーク推進協議会では、霧島ジオパークのPRなどに活用することを目的に、マスコットキャラクターを昨年12月から本年1月にかけて募集していました。たくさんの応募の中、新潟県在住の三巻保征さんの「キリッチ」が最優秀賞として選ばれました。

霧島ジオパークをイメージとして、様々な面で活用されます。今後は、「キリッチ」は、霧島ジオパークの公式キャラクターとして、様々な面で活用されます。

「ぶらいど 21 助成金」事業

助成金交付団体の活動実績を報告します

市では、市民の皆さんが主役になって自ら行う地域づくり・まちづくり活動に対し、助成金を交付する「ぶらいど21助成金」事業を行っています。平成22年度は、12団体が助成金の交付を受け、まちづくり活動を行いました。その活動の実績をお知らせします。

【ぶらいど21助成金とは】
私たち市民が市内にある豊かな歴史や文化、産業をしっかりと見つけ、誇りと自信をもっていきいきとしたまちづくり活動が行われることを進めるために、予算で定める金額を上限としてその活動を行う団体や集団組織などに助成金を交付するものです。

【助成の対象となる活動は】
助成金の対象となる活動は、次の3つの活動です。
○豊かな生活環境の創出につながる活動
○市民文化の高揚につながる活動
○産業振興につながる活動

【対象となる経費は】
助成の対象となる経費は、会議費、広報費、用品費、看板製作費、勉強会費、活

動費、研修費です。ただし、助成金額の上限は単年度で1団体あたり100万円以内です。期間は3年です。【助成の条件は】
活動が3年間以上継続でき、帳簿などの書類が5年間以上保存されることが条件です。

【申請方法は】
毎年4月から5月にかけて、「ぶらいど21助成金」の申請を受け付けています。募集は、市広報紙・ホームページに掲載されます。助成金を活用したい場合は、企画課・振興係で申請方法や書類作成など、事前に説明を受けてください。「ぶらいど21助成金」の詳しい内容などについては、市企画課振興係に直接お問い合わせしていただくか、市ホームページ(<http://www.city.ehino.jp/>)をご覧ください。

なお、平成23年度「ぶらいど21助成金」は、受け付けが終了しています。

【お問い合わせ先】
市企画課振興係
☎ 35-1111
内線321

平成22年度ぶらいど21助成金交付団体活動実績

団体名	活動実績
JRえびの飯野駅をといちらかさん会	えびの飯野駅と周辺の美化活動を行いました。熱心なボランティアも増え、組織の強化を図ることができました。
末永村づくり実行委員会	末永地区にある田の神広場の除草作業、桜やアジサイ周辺の除草、ツツジの植栽、「ほたる水路」の整備を行いました。
六本原開拓記念碑会	六本原開拓記念碑周りの公園整備として、藤棚の作成、藤・桜の植栽、鹿被害防止のフェンス施工を行いました。
田代ひまわりロードプロジェクト	田代地区若手による景観形成。ひまわり大迷路、展望台を作製し、納涼ひまわりロード祭りを実施しました。
真幸EM研究会	真幸小学校児童への環境学習の支援。京町住民と共同で、京町まちづくり推進事業の支援を行いました。
湯きん実行委員会	利用者の目線に立った「スポットに行き着くことができるマップ」作製を行いました。
ガッツ!かつ	えびの駅舎の周辺を整備しました。地区民参加で美化活動、コスモスや桜の植栽を行いました。
真幸駅まつり実行委員会	真幸駅開業を記念し、来駅者のおもてなしや交流を深めるため、えびのの産業や文化などを紹介しました。
八幡丘をきれいにしつみる会	八幡丘公園をきれいにするため、沿道の草刈や桜・ツツジの植栽を行いました。
笑美農会	昔ながらの母のみそを受け継ぎ、地域の方とその味を守って行くための活動を行いました。
自衛隊基地等を考える市民の会	自衛隊施設周辺住民との意見交換・座談会、自衛隊のまちをアピールする看板の設置などを行いました。
子どもと共に歩むえびのの会	市民向け児童虐待防止講習会・商工会女性部対象大人ワーク・教職員ワークを行いました。

※ JR えびの飯野駅をといちらかさん会と末永村づくり実行委員会は、22年度で助成交付が終了



といちらかさん会の飯野駅美化活動



八幡丘をきれいにしつみる会の桜の植樹

あの時、あの頃

あの時のえびの市を広報紙で振り返る

今月は、42年前の広報紙にタイムスリップ



後継者だけの集まり 飯野酪農クラブ

「飯野酪農クラブ」

酪農を自分たちの手で成功させようと、地道な勉強を続けている後継者だけで組織したグループがあります。グループの名称は「飯野酪農クラブ」といいます。

牛を囲んで検討し合う若者たちの顔には、歴史の浅いえびの町酪農の担い手になるとういう強い意気込みが感じられます。(昭和44年6月掲載)



余暇を楽しく活用。岡松婦人会

「岡松婦人会」

最近、ほとんどの家庭の台所で、プロパンガスが使われています。主婦の仕事も電気洗濯機や掃除機等の登場で大幅に合理化され、余暇が多くなりました。

南岡松婦人会は、こうした余暇を、楽しく豊かなものに使おうと努力しています。その1つとして、ハンドバックの作り方やカギ針編みなどの手芸の講習を受けています。

(昭和44年6月掲載)



育児や料理の勉強を続ける若妻会

「大溝原若妻会」

町内には約52の婦人グループがあります。しかし、平均年齢25歳という若い主婦のグループは1つしかないようです。名称もそのものズバリ若妻会。

毎月15日を定例日に定め、育児や料理の講習、家計簿の検討などのほか、家庭菜園をつくり、新鮮な野菜を食卓にのせ、家族の健康増進にも努めています。

(昭和44年6月掲載)

※このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています

がんばる！公民館

市内で一番小さな自治公民館

(牧の原自治公民館)



地区民が参加して、環境整備を行いました

牧の原区は、加久藤地区の北部山沿いに位置します。世帯数29戸の、市内で一番小さな自治公民館ですが、活発な公民館活動を展開しています。

牧の原自治公民館は、青壮年部・婦人部・コスモス会・産業部・高齢者クラブ・育成会の組織で結成。それぞれの組織が中心となって活動を展開中です。

青壮年部は、地域内の環境

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称

整備に積極的に取り組んでいます。

婦人部は、毎月25日に定例会を行っています。また、12月の大日堂祭りを担当し、祭りを盛り上げています。

コスモス会は、毎月10日に定例会を行い、地区民がほとんど参加する9月の敬老会を担当しています。

高齢者クラブは、年数回の公民館周辺の清掃活動を行うなど、年間を通じて活発な活動を展開しています。

育成会主催の十五夜祭りには、多くの地区民が参加し、盛会に行われています。

自治公民館全体の取り組みも活発で、年2回の地区内道路清掃は、全世帯が参加し行われます。

牧の原自治公民館は、小さいながらも、まとまりのある積極的な自治公民館活動を展開しています。



牧の原自治公民館長 柳田和幸さん



ジオパーク発掘調査隊

その21

今月紹介するのは、えびの市の「えびの高原」と「えびの高原キャンプ場」です。

■えびの高原

えびの高原は、霧島屋久国立公園内にあり、周囲を韓国岳、えびの岳、白鳥山、甌岳に囲まれた、韓国岳爆裂火口の崩壊堆積物や周辺火口湖の噴出物でできた扇状地性の山間盆地全体を指します。

高原北部に不動池、六観音御池、白紫池などの火口湖があり、池を巡るトレッキングコースは「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選定されています。

えびの高原周辺の丘陵地はアカマツなどが広がっており「森林浴の森100選」にもなっています。

また、世界でもえびの高原近辺にしか自生しないノカイドウ(国の天然記念物)や火山特有の植物であるミヤマキリシマの群落などを見ることもできます。



自然のアカマツに囲まれたケビン群

■えびの高原キャンプ場
えびの高原内にあり、標高約1200メートルにあることから、夏は日中の平均気温が約24度と過ごしやすく、避暑地として県内外から多くの利用者が訪れます。

テントサイトとケビン群は、自然のアカマツとクマザサに囲まれ、快適にキャンプを楽しむことができます。

また、全国でも珍しい「かけ流し温泉」のあるキャンプ場としても有名です。

【予約・お問い合わせ】
えびの高原キャンプ場
☎0984-33-0800



ボランティア活動の一環でプルタブを集めています
※アルミ缶リサイクル協会では、アルミ缶を集めるのなら、タブだけを集めるのではなく、タブを取らずに「アルミ缶そのもの」を集めることを推奨しています

飯野高校 JRC 部 東脇千秋さん 重留里衣さん

ボランティアで学んだ 人と接する大切さ

Chiaki Higashiwaki
ひがしわき・ちあき / 17歳 / 飯野高校3年 / 趣味: 音楽鑑賞「特にエグザイルを聞いています」

Rie Sigetome
しげとめ・りえ / 18歳 / 飯野高校3年 / 趣味: 球技「観戦も競技するのも好きです」・音楽鑑賞

「寒い時の募金活動などは大変です。でも、この活動が誰かのためになるんだと思うとがんばれます」と話すのは、飯野高校 JRC 部部員の重留里衣さん（写真右）です。JRC 部とは、Junior (ジュニア) Red (レッド) Cross (クロス) の

略です。日本語では、青少年赤十字といえます。現在、JRC 部には、女子12人、男子5人が所属しています。飯野高校 JRC 部では主に、募金活動、ベルマーク収集、清掃活動などを行っています。「中学校の時、姉から『飯野高校にはボランティアをす

る JRC 部があるよ』と聞いていました。陸上部に入る予定でしたが、気になっていた JRC 部に入部しました」と話すのは、部長の東脇千秋さん（写真左）です。「私も中学校の時に存在は知っていました。私自身、ボランティアに興味があったの

で入部しました」とは重留さんです。東脇さんはボランティア活動で得られたものは大きかったと話します。「募金活動などでは、募金を入れてくれる方の温かさを感じることができ、人と接する大切さを活動を通じて学びました」

2人とも飯野高校の生活情報科に所属しています。「9月に、飯野高校の体育文化祭「海堂祭」が行われます。そこで JRC 部の活動報告を行います。また、私たちの作った服でファッションショーも行います。ぜひ、見に来てください」



えびの産の食材を使ったおいしい料理

◎今月一品 (ちらしずし)

レシピ

【材料】 (4人分)
【すし飯】米 280g、水米の 1.2 倍、酒大さじ 3/5 【合わせ酢】酢 1/6 カップ、砂糖大さじ 1/2、塩小さじ 1 【具】ニンジン 40g、干しシイタケ 2 枚、タケノコ 40g、ゴボウ 40g、かまぼこ 40g、鶏もも肉 (こま切れ) 40g、だし汁 1/2 カップ (A) 砂糖大さじ 2、醤油大さじ 2、みりん大さじ 1/2、酒大さじ 1/2、きざみのり適量

【作り方】
《すし飯をつくる》
①米を洗い、水気を切り、炊飯器に米を入れ水と酒を加え 30 分おいて炊く。
②酢・砂糖・塩を混ぜ合わせ、砂糖を煮とかして合わせ酢を作る。
③米が炊きあがったら②の合わせ酢を全体にまわしかけ、切るように混ぜる。
《具をつくる》
④ニンジンはみじん切りにし、酢水につけておく。干しシイタケは水につけて柔らかく戻し、軸を除いて半分切り、薄切りにする。タケノコは短冊切りにする。ゴボウはささがきにして、水につけておく。かまぼこは扇切りにする。
⑤鍋に鶏肉を入れて軽く炒め、干しシイタケ・タケノコ・ゴボウを入れ、だし汁を加え強火で煮る。沸騰したら弱火にして 7~8 分煮る。かまぼこ、(A) を加え落しぶたをして弱火で煮る。
⑥温かいすし飯に、汁気をきったニンジンを加え、さつくりと混ぜる。
⑦⑥に⑤を加え、なじませる。
⑧器に盛り、きざみのりを上に飾る。

recipe

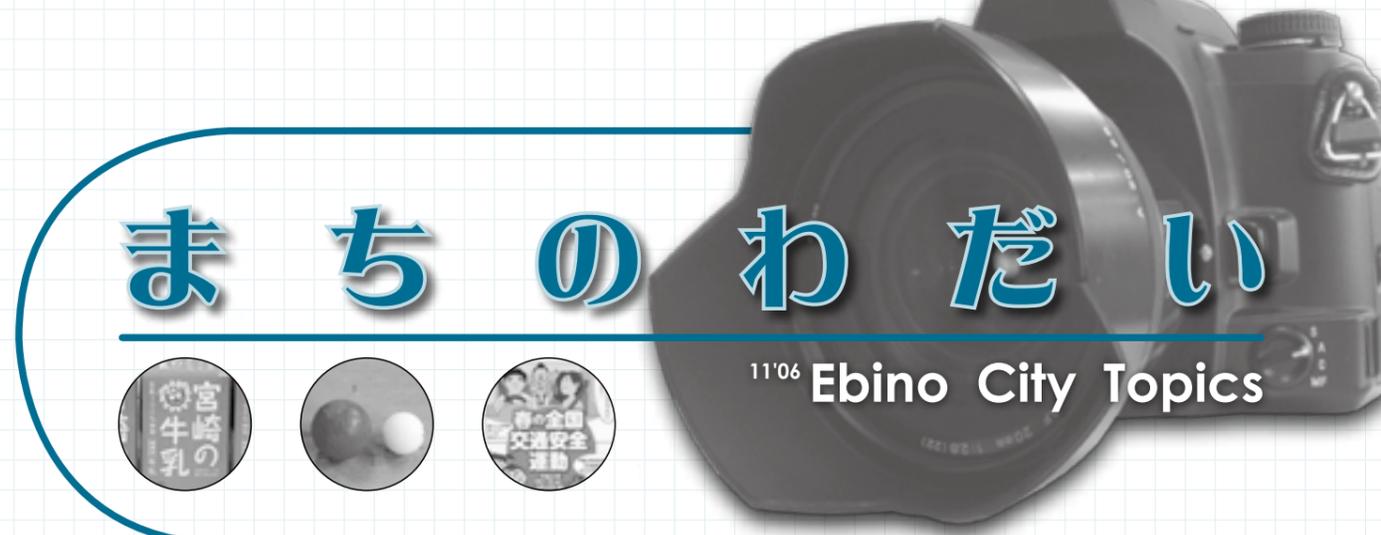
今月紹介するのは、えびの市食生活改善推進員でつくった「ちらしずし」です。酢は、胃液の分泌を促進し、消化酵素の働きを活発にしたり、食欲を増進したりします。また、血管を拡張し、血液の流れを良くして、血圧を下げる働きもあります。これから夏になります。暑さで食欲不振になりやすい季節です。そんな時は、ちらしずしを食べて、暑い夏を乗り切りましょう。



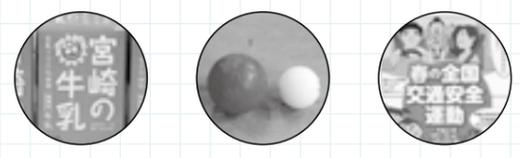
【紹介者】 えびの市食生活改善推進員
津奈木芳子さん 迫田昭子さん

えびのののの つまかもん

「えびのうまいもの」



まちのわだい



パークゴルフ大会開催



参加者は雨のため、ボールが飛びにくく、苦労していました

5月24日、小林アーバンパークゴルフ場を会場に、えびの市パークゴルフ協会設立記念大会が行われました。大会には、市内外から約60人が参加しました。パークゴルフは、ほぼゴルフと同じルールで、専用のボールとクラブで行います。同協会は、年齢を問わず楽しめるこの競技を、運動不足解消と健康増進に役立ててもらおうことを目的に4月21日設立されました。現在、会員は52人です。参加者の市田静雄さん(岡松区)は「健康づくりには、一番いいと思います」と話していました。

留学生164人を歓迎



留学生は、大学を目指し、1年間えびので勉強します

5月30日、国際交流センターを会場に、えびの市留学生歓迎会が行われました。歓迎会には、留学生や関係者ら260人が参加。今年、中国の日章学園長春校からえびの市に来た留学生164人を歓迎しました。会場では、焼肉やカレーの振る舞いのほか、えびの太鼓や日本舞踊、留学生による民族ダンスや中国語・英語の歌も披露されました。留学生のジア・シアンイさんは「えびのに来てえびのの人の温かさが好きになりました。市民の方ともしっかり交流できればと思います」と話していました。

交通安全を呼びかける



ドライバーに交通安全を呼びかける

5月12日、国道221号線、飯野地区の藤坂付近で、春の交通安全街頭キャンペーンが行われました。キャンペーンには、えびの市ロータリークラブやボランティアひまわり会など6団体約50人が参加。ドライバーにチラシとキーホルダーを配りながら「交通安全に気を付けて運転してください」と呼びかけました。市内では、平成20年6月29日から交通事故が発生していません。今年3月25日で、交通事故死亡事故が1000日を超えました。

フリーマーケットで義援金



義援金は、138,895円集まりました

6月8日、「若者チャレンジプロジェクト」が、えびの市社会福祉協議会に義援金を届けました。この義援金は、4月24日、同団体が、市内スーパーの駐車場でフリーマーケットを行い集めたものです。義援金は、東日本大震災の被災地に贈られます。「若者チャレンジプロジェクト(会員14人)」は、社会教育課の事業で、若者で構成された地域おこしなどを行う団体です。代表の丸濱晃一さんは「えびのも元気にして、被災地も元気になるべし」と話していました。

父の日に牛乳(ちち)を



宮崎県産の牛乳を飲んでキャンペーンをPR

6月1日、えびの市酪農青年女性部の代表3人が市長を訪問。牛乳消費拡大のPRを行いました。宮崎県酪農青年女性連絡協議会では、「6月19日の父の日には、牛乳(ちち)を贈ろう父の日キャンペーン」を行っています。今年で12回目になります。同青年女性部は、市長に牛乳30パックを贈り、牛乳消費拡大を願う牛乳で乾杯をしました。同青年女性部部長で酪農業の小多田秀次さん(今西区)は「このキャンペーンで、牛乳の消費が少しでも増えればうれしいです」と話していました。

万が一の災害に備えて



一次避難場所から避難所に到着した区民

5月22日、出水区で新燃岳からの降灰による土石流を想定した避難訓練が行われました。訓練には、出水区民や地元消防団・消防バイク隊など約90人が参加しました。訓練では、区民を中心に伝達訓練や要援護者の移送訓練、避難所への避難などが行われました。避難所への避難では、一次避難場所である出水区グランドゴルフ場が集まった住民を、分区長(班長)が、手際よく人員を確認し、区長に報告していました。このほか、5月13日には、市文化センターで、大明司区・山内区合同の防災訓練も行われました。

高齢者宅の水周りを点検



高齢者宅ら5軒を回り、水道点検を行いました

6月3日、えびの市管工事協同組合(12社加盟)が、1人暮らしの高齢者宅と真幸園、老人福祉センターの水道点検をボランティアで行いました。この取り組みは、水の大切さや水の使えることの大切さを改めて考えてもらおうと、水道週間に合わせて毎年行われています。今年度は、真幸地区を訪問。同組合員の皆さんは、水漏れ箇所や蛇口の点検などを行いました。同組合理事長の築純洋さんは「市民の方に、これを機に水道についての認識を高めてもらえれば」と話していました。

information

お知らせ コーナー

男女共同参画功労賞・女性のチャレンジ賞候補者募集

宮崎県では、男女が個人として尊重され、あらゆる分野での活動に参加することができる「男女共同参画社会」づくりを目指しています。男女共同参画に積極的に取り組んでいる方やグループ・事業者に対して知事が表彰を行っています。自薦・他薦による応募をお待ちしています。

【推薦方法】市企画課にある所定の推薦書に必要事項を記入の上、7月29日（金）までに市企画課へ提出してください。

【表彰の時期】11月下旬を予定 ※その他詳しい内容などは、市ホームページ (<http://www.city.ebino.lg.jp/>) にも掲載していますので、ご確認ください。

☎市企画課振興係
内線 322

殺虫剤の小分けは、法律で禁止されています

埼玉県越谷市内で、自治会が第2類医薬品である殺虫剤をお茶のペットボトルに小分けし、これを誤飲した女性2人が意識不明となる重大な健康被害が発生しました。このような行為は、医薬品の小分け製造であり、薬事法に基づく医薬品製造業の許可が必要になります。

必要な許可、適正な表示および包装なしに医薬品である殺虫剤を小分けして配布すること

は、薬事法違反です。また同時に、公衆衛生上の観点からも、重大な健康被害をもたらす可能性が高い危険な行為です。

薬事法に基づく許可がない場合は、殺虫剤の不適切な小分け配布することは絶対にやめましょう。

☎宮崎県医療薬務課薬務対策室
☎0985 - 26 - 7060

東日本大震災支援活動写真展開催

えびの市歴史民俗資料館では、7月1日から7月7日の7日間、東日本大震災で支援活動を行った小林市のボランティアグループ「チーム小林47」の活動内容写真展を行います。市民の皆さんの来場をお待ちしています。

☎市歴史民俗資料館
☎35 - 3144

無人ヘリによる水稲農薬散布を実施します

J A えびの市による無人ヘリ水稲農薬の重点防除が下記のとおり実施されます。農薬は水和剤を使用します。近隣の水田や住宅などへ飛散しないよう十分注意しながら実施します。

▼散布内容

【1回目防除時期】

8月上旬から中旬の穂ばらみ期

[病害虫名]

ウンカ類・ハマキムシ、いもち病・紋枯病

【2回目防除時期】

9月上旬の傾穂期

[病害虫名]

ウンカ類・カメムシ、いもち病・紋枯病

※水稲農薬散布を行う農家の方は、周辺住民への配慮を徹底してください。

農薬散布についての詳しいこ

は、えびの市農協グリーンセンターまでお問い合わせください。

☎市内農協グリーンセンター

☎飯野 33 - 2212

☎加久藤 35 - 0451

☎真幸 37 - 0023

鹿児島県家畜商講習会開催

家畜商免許を取得する場合、毎年開催される家畜商講習会を受講し、終了証明書の交付を受けなければなりません。

鹿児島県農政部畜産課では、下記日程で家畜商講習会を行います。

【期日】8月1日（月）、8月2日（火）

【時間】午前9時～午後5時

【開催場所】鹿児島県市町村自治会館 403号会議室（鹿児島市鴨池新町7番4号）

【受講内容】1.家畜の取引に関する法令、2.家畜の品種および特徴、3.家畜の悪癖、機能障害および疾病

【定員】100人程度

【受講申請手続】受講申請書に講習手数料分3,300円の「鹿児島県収入印紙」、および「写真（6か月以内に撮影したもの）」を貼布し、必要事項を記載押印の上、提出。（受講申請書は、鹿児島県農政部畜産課、鹿児島県内各市町村で配布）

【提出先】〒890-8577

鹿児島市鴨池新町10番1号

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係

※7月1日（金）必着

☎鹿児島県農政部畜産課中小家畜係

☎099 - 286 - 3224

☎市畜産農林課畜産振興室

内線 236

東日本大震災関連の義援金を支出した方へ

個人の方が、国や被災自治体への寄付金、東日本大震災に関連し日本赤十字社などへの義援金などを支出した場合（報道機関などを通じて支払った場合を含む）、一定の要件の下、所得税・住民税が減額される場合があります。

詳しくは、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp/>) をご覧いただくか、最寄りの税務署へご相談ください。

☎小林税務署

☎0984 - 23 - 3126

※自動音声案内

広い海を舞台に！ 海上保安官募集

海上保安庁では、海上保安大学校学生および海上保安学校学生を募集しています。

▼海上保安大学校

【受付期間】8月25日（木）～9月6日（火）

【第1次試験日】10月29日（土）、10月30日（日）の2日間

【受験資格】平成3年4月2日以降に生まれた者で、高等学校またはこれと同等と人事院が認める学校を卒業し、平成24年3月までに卒業する見込みで、必要な受験資格を満たしている者

▼海上保安学校

【受付期間】7月19日（火）～8月2日（火）

【第1次試験日】9月25日（日）

【受験資格】昭和63年4月2日以降に生まれた者で、高等学校またはこれと同等と人事院が認める学校を卒業し、平成24年3月までに卒業する見込みで、必要な受験資格を満たしている者

なお、受験資格、受験手続などの詳細は、海上保安庁ホームページ (<http://www.kaiho.mlit.go.jp/>) をご覧いただくか、第十管区海上保安本部までお問い合わせください。

☎第十管区海上保安本部総務部人事課

☎099 - 250 - 9800

パソコン講習（初級）受講者募集

宮崎県シルバー人材センター連合会では、高齢者の雇用就業につなげることを目的にパソコン講習（初級）を実施します。

【受講期間】8月24日（水）～9月6日（火）※土日・祝日を除く

【時間】午前9時～午後4時

【受講場所】小林市シルバー人材センター

【対象者】ハローワークに求職登録している方が対象でおおむね55歳から64歳までの方

【受講料】無料

【定員】20人

【申込締切】8月9日（火）必着

【申込方法】宮崎県シルバー人材センター連合会へ直接電話

☎宮崎県シルバー人材センター連合会

☎0985 - 31 - 3775

119 だより



避難場所・避難経路の再確認を

今年は、新燃岳噴火による噴石、降灰の被害が県内で多数出ています。これから梅雨本番になり、土石流やがけ崩れにも注意が必要です。

テレビ、ラジオ、防災無線放送などで正確な情報を収集し、家族または近所の皆さんで避難場所、避難経路の確認をしてください。梅雨時期は、今まで以上に注意してください。

救急車の適正な利用のお願い

救急出動件数が増加しています。真に救急を要する方のために、救急車の適正な利用をお願いします。

5月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	7件
	救急	57件	年計	311件

■えびの消防署 ☎33 - 6119

110 だより



夏の交通安全県民総ぐるみ運動実施

7月11日（月）から7月20日（水）までの10日間、県内一斉「夏の交通安全県民総ぐるみ運動」が実施されます。市民の皆さんの参加により、えびの市内の交通事故防止にご協力をお願いします。

【宮崎県交通安全スローガン】

ストップ！ 脇見 ぼんやり運転

【運動の重点】

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 飲酒、暴走、過労・居眠り運転など無謀運転の防止
- セーフティエコドライブの推進

5月の交通事故 発生状況	人身	10件	本年 5月末	46件
	物件	26件	本年 5月末	128件

■えびの警察署 ☎33 - 0110

心の一首一句

短歌

八十路越へ異国に眠る友思う
唄う此の唄岸壁の母

永山区 下牟田シメ

今回の東日本災害の惨事に作者は、六十五年前、異国で終戦を迎えたあの恐怖と友の死に思いを馳せ、口ずさむ唄は親や子を想う歌であり、今、自分が生かされている幸せに感謝し、震災で亡き人、友の冥福を祈っておられる。
実体験を重られた真実の詠である。東日本の方は無理せず諦めないで進んで欲しい。
(評 竹下妙子)

俳句

ミヤマキリシマ懸念されつつ咲きにけり

白鳥区 松山夢真

新燃岳の降灰を受け、開花が心配されたが、ほとんど例年どおりの開花で安心した。
(自註)

詩

山よ

岡松区 田中孝江

山よ あなたの底力がうらやましい
冬の間あれほど暗く沈んでいたのに
今夏もまた明るく美しい色合いで
あたらしい生命の顔を創りだしている
山よ 鼻の頭の赤い盛りあがり
いくら考えてみてもこれはやはり
吹出ものときかいいようがないのだけれど
恥ずかしくはないの

そんなことはおかまいなしと
今日も元氣よく真新しい緑を
吹きだしている
白みどり 黄みどり 赤みどり
もう止めるすべもない勢で毎日ごと
山は もりもり盛りあがる

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 松山良文さん ☎ 0984 - 33 - 4904

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますか、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『日曜日の随想 2010』

日本経済新聞社 / 編
(日本経済新聞出版社)

「日本経済新聞」文化面に毎月から師走まで52人がつづった珠玉のエッセイ集。

規則正しい生活のリズムを取り戻そうとする芥川受賞作家。ギアナ高地で、本になる予定のない凄惨な絵の添えられた絵物語が完成した旅の話。腕っ節が強い野良猫に妻がつけた名前は「ケンさん」だった。など、日々の暮らしでのささやかな発見や、詩人、俳人、作家の感性豊かな言葉に思う存分触れられる一冊です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

6月に入り、雨の多い季節となりました。例年に比べ、過ごしやすくなる気がします。市内では、消防団が7月10日の操法大会へ向けて練習に励んでいます。夜になるといたるところで、威勢のいい声が聞こえてきます。(川野)

【おわびと訂正】広報えびの5月号「特集防災のスズメ(広報えびの2ページ)」で「3月14日の東日本大震災など」と掲載していましたが正しくは、「3月11日」です。おわびして訂正します。

◎えびの市の人口

男性 / 10,145人 (-9人)	転入 / 56人
女性 / 11,264人 (-17人)	転出 / 69人
合計 / 21,409人 (-26人)	出生 / 16人
	死亡 / 29人

◎えびの市の世帯数

9,533世帯 (-15世帯)

(平成23年6月1日現在)

今月の納税

市県民税 第1期
介護保険料 第2期

6月30日までに納めましょう。

いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

家庭内事故から子どもを守ろう!

■田村保健師 (健康保険課)



ちょっと目を離したすきに、子どもが危険なものを口にしていたり、転んでいたりして驚いたことはありませんか?

子どもの行動は予測不可能なことが多く、家の中でも思わぬ事故につながります。厚生労働省の統計によると、1~4歳の死亡原因の1位は「不慮の事故」で、その4割が家庭内で起こっています。子どもは好奇心旺盛で危険なものへの判断力が未熟なため、大人が想像もつかない事故を起こします。

まずは子どもから目を離さず、ひとりにしないよう心がけたうえで、その子の年齢や成長に合わせた安全対策をとり、事故を予防しましょう。また、子どもに危険なこと、やってはいけないことを繰り返し教えることも大切です。

<ここに注意! 事故が起こる前の対策>

○台所には、包丁や炊飯器の蒸気など、危険な

ものが多くあります。可能なら入り口にフェンスをつけ、子どもが1人で入れないようにしましょう。包丁や調理器具などは、こまめにしまい収納扉に市販のストッパーをつけましょう。○居間では、ボタン、たばこなどの誤飲を予防するため、子どもの手の届かない引き出しにしましょう。コンセントは、クリップを差し込んで感電するなど、予想外の事故が起こりやすいため、市販のカバーでおおうと安心です。○浴室は、湯船での溺水や転倒など事故が起こりやすい場所です。数センチの水深でも溺れます。親の洗髪中は浴槽にふたをし、入浴後は早めにお湯を抜くと良いでしょう。○階段は、滑り止めなどをつけたり、靴下やスリッパは履かせたりしないなど、転倒を防ぎましょう。また、子どもを抱っこしているときは足元が見づらいので、大人も注意しましょう。

男女共同参画だより

毎年、6月23日から29日は「男女共同参画週間」です

男性と女性が共に、職場や学校、地域や家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる『男女共同参画社会』を実現するためには、政府や地方公共団体だけでなく、事業所や市民のみなさん、一人ひとりの取り組みが重要です。

「男女共同参画社会基本法」が平成11年6月に施行されて12年になります。平成22年12月には、国の「第3次男女共同参画基本計画」が策定されました。この計画は、実効性のあるアクション・プランとなっています。

宮崎県では、平成24年3月に、新たな「みやぎ男女共同参画プラン」が策定される予定です。

えびの市では、「えびの市男女共同参画プラン」が平成16年7月に策定され、平成21年12月には「えびの市男女共同参画推進条例」が制定され

ました。少子高齢化の進展、家族形態の多様化、地域社会の変化、社会経済情勢の変化等に対応していく中で、女性にとっても男性にとっても生きやすい、そして住みよいまちえびの市を築いていくためには『男女共同参画社会』の実現は重要な課題です。

この「男女共同参画週間」を機会に、私たちのまわりの男女のパートナーシップ(協力関係)について考えてみませんか?



ふるさと散歩

Furusato-sampo

152

霧島ジオパーク



日本ジオパークに認定された霧島連山

環霧島地区の自治体と民間団体などが積極的なジオパーク誘致活動を進めてきた結果、霧島連山が昨年の九月十四日に日本ジオパークに認定されました。ジオとは地球や大地のことです。「地球（大地）の公園」といった意味です。

現在、日本国内には島原半島、山陰海岸などの世界ジオパークが四か所、霧島や阿蘇、天草などの日本ジオパークが十か所あります。認定された地域では、環境の保護をしながら、ジオパークを活用した地域振興や観光発展が進んでいます。単独の都道府県で認定された地域が多い中で、世界ジオパークの山陰海岸は、京都・兵庫・

鳥取の三府県にまたがっています。今回日本ジオパークに認定された霧島ジオパークも範囲は宮崎と鹿児島にまたがっています。今後、世界ジオパーク認定を目指す霧島ジオパークも宮崎と鹿児島が連携し、環境の保護と有効活用を進めていくことが求められます。

世界遺産は主に環境の保護が目的であるのに対し、ジオパークは環境の保護と活用を主な目的としています。

ジオパークとは、「地域の地史、地質現象、地質遺産だけでなく、考古学的、生態学的、文化的な価値を含む地域」、「公的機関、民間団体などによる運営組織と運営・財政計画を持つ地

域」、「ジオ・ツーリズムなどを通じて地域の経済発展を育成する地域」、「地域の地質遺産を保護する地域」、「世界のネットワークの一員として、相互に情報交換や会議に参加し、ネットワークの活性化を行っている地域」のことをいいます。

また、二〇〇八年には、ジオパークの目的の一つに、防災に関してジオパークの知識を役立てている地域が加まりました。

新燃岳の近くに住む私たちは、山や自然からの恩恵を地域振興に役立てることに同時に、自然の怖さを知り、それを防災に役立てることがジオパーク認定の恩恵でもあります。

(文)市歴史民俗資料館